

郡市医師会めぐり 第 8 回

下松医師会



下松医師会は昭和 14 年 11 月 3 日、下松市が下松町以下 1 町 3 村合併し誕生すると同時に都濃郡医師会より分離独立する形で発足しました。活動を開始し 73 年あまりの歴史を経た現在、所属医療機関は病院 3 施設、診療所 40 施設であり、会員数は 81 人です。平成 20 年 12 月 1 日に施行された新公益法人法に対応し、昨年度認定委員会で無事認可を受け、平成 25 年 4 月 1 日より下松医師会も従来よりの社団法人から一般社団法人となりました。

まずは簡単に下松市のご紹介をいたします。下松市は県東部周南地区にありますが、平成の大合併には参加せず、単独市制を貫いた県内でも数少ない地方自治体の一つです。現在、人口は 5 万 6 千人あまりで、若干ですが人口の増加が続いており、昭和 14 年市誕生時には人口 3 万 1 千人あまりであったことを考えると、市としての規模もずいぶん大きくなっています。

地理的な特徴では、JR 山陽本線・岩徳線、国道 2 号線・188 号線の主要路線が市内を走り、海に目を向けますと下松港は大型船舶の停泊も可能な良港です。また下松からほど近いお隣、周南市の徳山駅には新幹線も停車し、山陽自動車道の徳山東インターチェンジは市境から 1km 足らずのところであり、交通の便としてはたいへん良い立地です。そのため戦前より東洋鋼鉄、日立製作所（新幹線を造っています、TVCM にもよく登場）、新笠戸ドックなどの工場群が海岸線あるいは山間部に開発された工業団地などにならぶ工業都市が第一の顔です。

さらにもう一つの特徴は商業都市としての顔です。市内中央部にあった日本石油油槽所跡地に平

成 5 年に開業したザ・モール周南（西友）を皮切りに、未開発で広い土地の残っていた末武平野、久保盆地などにサンリブ・イオン・ナフコ・ヤマダ電機・エディオン・ニトリなどの広大な駐車場を併設した全国資本の郊外型ショッピングセンターがあれよあれよという間に立ち並びました。また下松スポーツセンター（ボウリング、ゴーカートなど）やくだまつ健康パーク（温泉、プール、アイススケート、ゴルフ）などのレジャー施設も充実し、昭和 40 年代、50 年代の何もなかった頃に子ども時代をここで過ごした者にとってはまるで別の街のように思います。

観光地としては、瀬戸内海国立公園の一部である笠戸島に、風光明媚な地形を活かしたキャンプ場やはなぐり海水浴場などがあります。また、山間部に目を向けますと周南地区水不足解消のための治水事業として造られた末武川ダム、通称^{べいせんこ}米泉湖周辺も公園整備され、さまざまなイベントが行われています。旧山陽道の宿場街であった花岡地区には、花岡八幡宮、あかい坊や福德稲荷神



瀬戸内海国立公園笠戸島にかかる笠戸大橋



福德稻荷 稲穂祭 狐の嫁入り



救急医療功労者厚生労働大臣表彰

社などの神社・仏閣が並びます。なかでも 11 月 3 日に福德稲荷神社を中心に開かれる奇祭、稲穂祭"狐の嫁入り"には多くの観光客が詰めかけます。

さて、下松医師会は規模もあまり大きくありませんので、基本的には医師会員同士の距離が近い医師会であります。残念ながら医師会病院や検診センターなどの医師会としての大きな施設は保持していませんが、医師会事務所は前述のザ・モール周南に併設された下松市文化健康センターの 3

階にあります。ここで日常的な医師会の事務業務を行うとともに、14 日会と呼ばれる医師会会議をかねた懇親会が毎月第 2 火曜日に開催されています。若干のアルコール類と料理が供され会員同士の連絡を密にする場所となっています。

また、下松市文化健康センター 1 階には内科・小児科系の休日診療を行う休日診療所が設けられており、日曜・祝祭日は医師会員が交代で診療にあたっています。外科系は設備の問題で医師会員自身の診療施設にて輪番制で休日診療を行っています。昨年、長年の医師会としての休日診療・救急対応の取り組みに対して小宮山厚生労働大臣（当時）より表彰を受けました。



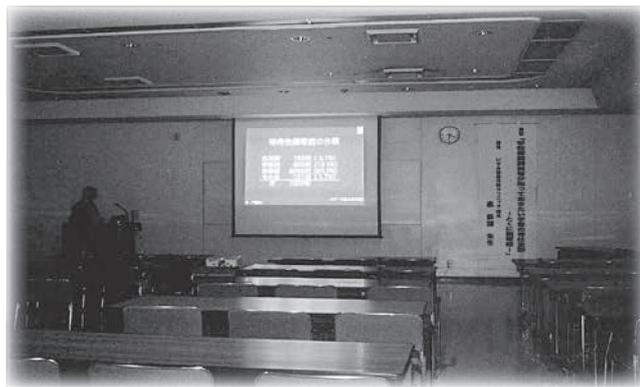
下松市文化健康センターとザ・モール周南

下松市は周南市と光市とともに周南地区として一つの医療圏を形作っていますので、三市の医師会の連携は重要です。毎年、周南三市医師会役員会が開催され、お互い情報交換や行政の対応などについて検討などを行っています。また歯科医師会、薬剤師会とは毎年 1 回、三師会を開いて、ゴルフ大会と総会及び懇親会で交流を深めています。



下松福祉健康まつりでの
メタボリックシンドローム医療相談の風景

休日の救急診療以外にも下松市との契約で多岐にわたる事業を行っています。代表的なものは、がん検診などの検診事業、予防接種、校医などの学校保健事業、産業医、介護保険事業などです。また年 1 回下松市文化健康センターを中心に開かれる“下松福祉健康まつり”では、簡単な検診や医療相談の窓口などを設け、市民の方々とふれあうようになっています。不定期ではありますが、講師をまねいたり医師会員自身が講師になったりしての市民公開講座も開いています。



学校医・教職員向けの側弯症講習会（下松医師会主催）

以上、はなはだ簡単ではありますが下松医師会の紹介です。先にも述べましたように小規模な医師会でありますので、アットホームな雰囲気、こじんまりと運営をいたしております。もし周南

地区に足を運ばれる際には、ぜひ一度、下松の街にもお立ち寄りください。

【文責 下松医師会広報担当理事 松野 尚弘】

日医 FAX ニュース

2013 年（平成 25 年）4 月 26 日 2243 号

- 新専門医制度創設へ、最終報告書を公表
- 母体保護法「指定基準モデル」を改訂
- 特措法の施行を踏まえ日医の見解説明
- 鳥インフルを「指定感染症」に
- 地産保など 3 事業の在り方の検討開始

2013 年（平成 25 年）4 月 23 日 2242 号

- 医師不足対策で「地域医療再興講座」を
- 医療事故調、秋の法案提出も視野
- リピーター医師の指導強化で提言
- 次期改定「マイナスにすべきでない」
- 特区内の外国人医師「ハードル高い」
- 消費税 10%の対応、診療報酬では困難
- 不妊治療の保険商品化「課題も多い」

2013 年（平成 25 年）4 月 19 日 2241 号

- 税率アップ 3%分の補填財源がカギ
- 伸び率抑制「現時点では考えていない」
- 新型インフル政府行動計画案を提示
- 総人口は 2 年連続で大きく減少
- 輸液の血管外漏出で再度注意喚起

2013 年（平成 25 年）4 月 16 日 2240 号

- 医療の消費税問題、秋に結論
- 医療事故調の見解「他団体と違わない」
- 医療情報、「機密性への対応必要」
- 医師会や病院団体、製薬、卸も一丸で
- 外科手術データベース、267 万症例に

2013 年（平成 25 年）4 月 12 日 2239 号

- WMA 緊急決議を評価
- 勤務医の健康支援で手引
- 再生医療の実用化、日医からヒアリング
- 薬剤師へのインセンティブに厳しい目
- 新型インフル特措法、13 日に施行

2013 年（平成 25 年）4 月 9 日 2238 号

- 「一般病床」単位を堅持
- 特定機能病院は「大学本院に限定を」
- 生殖補助医療、来年の法案提出に期待
- がん研究戦略に向けて 15 日に初会合
- 鳥インフル問題、万全な対応を指示
- 鳥インフル、疑い患者は情報提供を

2013 年（平成 25 年）4 月 5 日 2237 号

- 日医の公益社団法人移行を受けて
- 7 ワクチンの定期接種化を要望
- 医師配置への国の関与に反対
- 「医療の『見える化』」をテーマに講演

2013 年（平成 25 年）4 月 2 日 2236 号

- 医師の強制配置、同意できない
- 医学会の「法人化」に懸念の声
- 「看護師の特定行為」で研修制度創設
- 医療事故の報告件数、増加基調が継続
- 救急救命士の業務範囲拡大へ
- 予防接種法改正案が成立